



2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

HIROSHIMA KUKO Rotary Club Weekly-Report

会長 小島 勘次 副会長 岡田 雄幸 幹事 兼田 昌紀 SAA 松下 知美

広島空港ロータリークラブ

2024-25 2024年7月10日発行

事務局 三原市本郷南6丁目3-26 三原臨空商工会2F
TEL 0848-86-0986 FAX 0848-86-0992
E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル(TEL 0848-60-8111)

2710地区 上田文雄ガバナー 信条

行動しよう、未来のために。=変革に取り組もう=

本日のプログラム(7月10日)

三原やっさ祭り実行委員会 福戸山実行委員長
「第49回三原やっさ祭りについて」

次回のプログラム(7月24日)

三好敏之会員担当

第1305回 2024年7月3日 例会記録

点 鐘 小島勘次会長
国歌斉唱 ロータリーソング「四つのテスト」
ビジター 三原RC 深山隆一さん

出席報告

	会員数 シニア会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (7/3)	26 3	19 0	0	4 3	82.61
メイク					

食事時間



スモークポテトと小鯛フリットのガトー仕立て
フレンチドレッシング
ミネストローネスープ
ソミュールマリネチキンモモのポアレ
ロベールソース ズッキーニグリルを添えて
バケット
コーヒー

新役員



小島勘次会長



岡田雄幸副会長



松下知美SAAと兼田昌紀幹事

1年間よろしくお願いします

皆出席表彰



鶴田幸彦会員 10年連続皆出席



澤井一徳会員 10年連続皆出席



楠部滋会員 24年連続皆出席(右から2人目)

幹事報告



【本日の配布物】

- ・週報 1304回分 紙での発行は最後になります。
7月例会分からは、メールでお送りします。
- ・本年度活動方針・例会行事予定表
- ・ガバナー月信前年度最終号
- ・米山学友会会報
- ・会費のお願い(7月～9月分)

【回覧】

- ・7月例会出欠確認

- ・会員名簿チェック表
- ・近隣RC 例会変更

卓話時間

2024-2025年度 クラブ運営方針



会長 小畠 勘次

2024年4月に開催された広島空港ロータリークラブ創立30周年、全国空港フォーラム事業の活動をお手伝いしながら感じたことについて、以下にいくつかの観点から述べます。

個人的な感想

1. 多様なステークホルダーとの協力:

30周年記念行事や全国空港フォーラムの活動を通じて、地域の企業、行政機関、教育機関、他のロータリークラブなど、多様なステークホルダーとの連携が重要であると感じました。協力することで、より大規模かつ効果的なプロジェクトを実施することができました。

2. 地域社会への長期的な影響:

広島空港ロータリークラブの活動は、単なるイベント開催にとどまらず、地域社会に長期的な利益をもたらすものとして評価されています。教育支援や環境保護活動、健康増進活動などを通じて、地域住民の生活の質向上に貢献していることを実感しました。

3. 会員の情熱とコミットメント:

イベントやプロジェクトを成功させるためには、メンバー一人ひとりの情熱とコミットメントが不可欠であると感じました。定期的な会合や交流イベントを通じて、メンバー同士の絆が深まり、チームワークが強化されることの重要性を再認識しました。

4. まとめ:

広島空港ロータリークラブの30周年と全国空港フォーラム事業に関わることで、地域社会への貢献、次世代の育成、国際交流の促進、持続可能な

活動の推進の重要性を改めて感じました。これらの経験を基に、クラブの今後の活動に活かし、さらに発展していくことを期待しています。

よって、ロータリークラブの事は良く理解出来ませんが、私は「誰もが笑顔で居心地の良いクラブ」になっていると感じています。なので、2024-2025年度では更に楽しく笑顔が溢れる、出席するのが楽しいクラブにするべく皆さんと一緒にご協力をお願いいたします。

この一年間のこだわり

1. 出席率:

会員の出席率を高め、より活発なクラブ活動を目指します。

2. 会員増強:

各地区で1名の新規会員を増やすことを目標とします。

(東広島エリア・本郷河内エリア・三原エリア)

3. ロータリー財団支援、米山記念奨学会支援等:

例年通り支援を継続します。

4. 「不易流行」:

合理化して必要ないものを見直す
ロータリーの文化として継続するもの

5. 各自マイロータリーの活用(ラーニングセンター等):

会員が積極的にマイロータリーを活用し、学びを深めることを推進します。

6. 全員のITリテラシーの向上を図る:

デジタル時代に対応するため、全員のITリテラシーを向上させます。

【SAA】



松下 知美

気軽に引き受けてしまい、今頃になってすごい緊張感と責任を感じてます。

会長が『楽しい例会にしたい』という想いをお持ちなので、そのお気持ちを大切に4人で盛り上げていきたいと思ってます。

美味しいお食事を用意してくださるホテルの皆さまにも満足される例会になるよう頑張ります。

勉強しながらですが、よろしくお願い致します。

【クラブ管理運営委員会】



(部門 クラブ奉仕、出席プログラム、親睦)

委員長 岡田 雄幸

クラブ奉仕・親睦部門リーダー 鶴田幸彦

出席プログラム部門リーダー 澤井一徳

委員 熊谷祐司・谷本佳弘・住田 誠

川端 勝・松下知美

1. クラブ奉仕について

クラブの通例イベントである例会に出席し会員相互に親睦を深め、和気あいあいと活動できる体制づくりを行う。

イベントなどクラブ会員が相互に協力して参加するなど運営が円滑に行えるよう調整する。

2. 魅力ある例会づくりについて

会員同士が卓話をとおして学び、創造し、挑戦するきっかけづくりとする。

また、新たな発見をとおして挑戦し自らをさらに高められる例会とする。

3. 会員増強について

活動を通して三原・東広島・本郷・河内の各地区で1名の新規会員を増やすことを目標に努力する。

4. クラブ間の交流について

今年開催した創立30周年、「全国空港RCフォーラム」を契機として他クラブとの繋がりが出来ないか模索する。

【公共イメージ委員会】

委員長 三好 敏之
委員 堀内 至

地元の方に、ロータリークラブの活動等を、地元メディアまたホームページを通じて広報し、ロータリークラブの存在を理解していただき、イメージ向上に努める。会員に対しては、ロータリーやクラブの状況や情報を速やかに提供する。

1.「週報」の紙面を充実させる。

充実した「週報」を正確かつスピーディーに発行し、クラブ内外に情報の発信を行うため、次の点について会員の皆様にご協力をお願いいたします。

今年度より事務局の負担を減らすため、週報作成は外部委託します。そのため、会員の皆様には、次の事項の協力をお願いいたします。

例会での報告・発表時には必ず「原稿」もしくは「要約メモ」のご提出をお願いします。「原稿」もしくは「要約メモ」提出については、校正のスピード化と省力化を図るため、必ずメールでの提出をお願いします。

卓話では、事前に「原稿(600字～800字程度)」のご提出をお願いします。

2. ホームページに例会情報やその他の活動を掲載し、クラブ内外に情報の発信を行う。
3. マイロータリーの登録を推進し、活用の促進を図る。
4. ロータリーのバッヂをロータリーの会合に行くときだけではなく、いつも身に付けていただくようお願いいたします。
5. 今年度より「ロータリーの友」は電子版、「ガバナーマ月信」「広島空港ロータリークラブ週報」はメール配信といたします。

【会員増強委員会】



委員長 佐々木正親
委員 全 員

先ほど、会長が言われましたが、目標は高く、今年5人増強を目指しましょう。

私より遅く入会された、入会間もない方、積極的

に新しい候補者を選んでみてください。

楽しいクラブにするには、同好会が良いと思いますので、今年度、「お酒を楽しむ会」でも「おいしいものを食べる会」でもよいので、三原、本郷、西条あたりで、入会候補者を呼んで食事会を開けたらいいなと思ってます。よろしくお願いします。来月の会員増強会議は宜しくをお願いします。

会長が目標とされている3名の増強を考えましょう。

三原地区1名、本郷、河内1名、東広島1名です。

楽しい例会を多く行い、職場例会、夜間例会などは特に会員以外の候補者に出席してもらえるよう工夫しましょう。

特にロータリー歴が少ない最近入会された方々の協力が絶対必要です。新入会員の〇〇さん～宜しくお願いします。

【奉仕プロジェクト委員会】



委員長 桐島 勝利

国際奉仕部門リーダー 森崎正治
社会奉仕部門リーダー 楠部 滋
青少年奉仕部門リーダー 重森佳代子
職業奉仕部門リーダー 乗越耕司
委員 松本邦雄・大下知男・谷本康信
近藤一也・武野公昭・川本吉則
玉川勇二郎

- ・職場例会の実施
- ・ダイバーシティの理解を深めるための卓話の実施
- ・職場体験の積極的受け入れ
- ・がん予防委員会と連携して がん予防の卓話や商工まつりでのがん予防の促進
- ・本郷商工まつりで広島県立総合技術高校とのコラボによるチャリティバザーの実施
- ・第二例会で「ロータリアンの行動規範」の唱和
- ・使用済み切手、使用済みプリペイドカード、書き損じハガキの収集継続
- ・沼田川クリーンキャンペーンの参加
- ・地区補助金の申請の検討をする

【財団委員会】



ロータリー財団・米山記念奨学会

委員長 河井一郎

委員 鶴田秀樹

財団年次寄付

1人当たり110ドル(個人名寄付) 会員100ドル+スマイル会計より10ドル

ポリオ・プラス基金へのクラブ寄付

年間1人当たり30ドル(クラブ名寄付) 前年度募金箱分+不足分スマイル会計より

恒久基金寄付積立の継続

年間1人10ドルをスマイル会計より積立をし、目標は3～4年程度で1回のクラブ寄付

米山奨学会への寄付

年間1人5,000円(クラブ名寄付) スマイル会計より地区補助金

昨年度、要望がありました近藤会員に紹介いただいた施設への活用を12月まで検討する(来年3月までに申請)

グローバル補助金は活用しない。